

2010 年度 心コミ大賞 イベント部門 審査結果並びに講評

<審査員> 蓑内、鹿内、濱、石川

【イベント部門】

心コミ大賞:礎の石賞

「やちっこ野菜村☆秋の大収穫“菜”」

高田 有里子・内海 彩加

審査員特別賞

「日本の若者が世界を変える

フィリピンドキュメンタリー映画『BASURA』上映イベント」

福田 麻美

「大通つうしん」

松田彩香

講評:

イベント部門には5件の応募がありました。イベントの実施となると、企画から始まり、準備・交渉・人集めなど、とにかく時間とエネルギーが必要になります。募集から締切りまであまり時間がなかったことから果たして応募してくれるイベントがあるのか心配でしたが、予想以上に多くの応募があり、胸をなでおろすとともに感謝しました。応募イベントの内容・内訳をみると、心コミ学科の卒業研究に関連したイベントが3件、学科全体を盛り上げるイベントが1件、高校生からの応募イベントが1件でした。

実施中のイベントについては実際に視察に行きました。すでに終了したイベントについては報告書や映像・写真からイベントの様子をイメージして評価しました。いずれのイベントも企画者の熱意や努力が伝わってくるもので、大賞を選ぶのは難しい作業でした。企画力や実行力、労力、時間などを総合的に評価しました。

心コミ大賞:礎の石賞 「やちっこ野菜村☆秋の大収穫“菜”」 高田 有里子・内海 彩加

心コミ大賞:礎の石賞には「やちっこ野菜村☆秋の大収穫“菜”」を選出しました。

受賞作は地域の子どもの対象に食育をテーマとした約5ヶ月に渡る菜園体験のイベントでした。地域の子どもの14人と一緒に種まきから収穫までの作業を行い、その間には1泊2日の農場での収穫体験もありました。添付された映像からも教育的効果や準備の良さが伺えるものでした。

審査員特別賞 「日本の若者が世界を変える

フィリピンドキュメンタリー映画『BASURA』上映イベント」 福田 麻美

受賞作の「日本の若者が世界を変える フィリピンドキュメンタリー映画『BASURA』上映イベント」は、四ノ宮浩監督のドキュメンタリー映画『BASURA』の上映会・トークショーを道内の3箇所で行うものでした。数多くの組織から後援を取り、各種メディアを利用して広報活動も行っていました。その活動は道新の記事にも取り上げられており、社会的な意義も評価できるものでした。

審査員特別賞 「大通つうしん」 松田彩香

受賞作の「大通つうしん」は、札幌市立大通高校のメディア部が中心となって毎週1回放送している地域FM番組です。番組制作に関するディレクター、ミキサー、パーソナリティー、レポーターを全て高校生が担当しています。このような番組作成を毎週継続して行っていることは驚きでした。

他の応募イベントへの講評は以下の通りです。

これらは受賞を逃しましたが、地域や学内を活性化させるイベントなので、今後も継続されることを期待いたします。

「ヤチフェス2010」 工藤 大地 大谷地地区のスノーフェスティバルの企画・実践でした。毎年多くの人を動員する心コミの名物イベントで、今年で5回目になるものです。

「心コミ大運動会」 木村 結 学科全体の凝集性・コミュニケーション力の向上を図った運動会の企画・実施でした。